

渡島社会教育主事会

～コロナ禍における社会教育推進の取り組み～

「人類の地球上における永続的優位を脅かす最大の脅威はウイルスである」という警告が現実のものとなっている。全世界で猛威をふるう新型コロナウイルス。今後、コロナ前の生活スタイルに戻ることはできないとも言われている。マスク着用、ソーシャルディスタンス、不要不急の外出を控える等、コロナ禍の現在では様々な交流が控えられコミュニティーの低下が懸念されている。また、一人世帯の高齢者においては、孤立や孤独等の現実と向き合う現状が否めない。そのような現状において、今まで以上に社会教育の必要性や重要性が求められている。渡島管内においては、「新型コロナウイルスと共存する社会教育」とし、ZOOMを用いた会議の運営について体験的に学ぶとともに、コロナ禍だからこそ創意工夫し実現した事業の紹介や、そのポイントについて学び、検証することとした。

八雲町 「八雲野外文化祭」

市町名：八雲町（主催：八雲町文化団体連合会）

事業名：八雲野外文化祭

概要：例年は室内で行う舞台発表を野外で行うこととした。初めての野外開催ではあったが、室内と違う雰囲気や爽快感が感じられた。また、高齢者が中心であった来場者も、若者が来場するなど、例年と違う流れをつくることができた。

ポイント：野外開催による密集や飛沫感染対策を図り、感染リスクを抑えた。COCO Aの活用。



ネイパル森 「家族わくわく広場」



事業所名：ネイパル森

事業名：家族わくわく広場（計4回）

概要：2月末から休館し、日帰り利用のみ6月から再開することができた。長く家で過ごすことが続いた中で、家族で触れ合いながら過ごす場や子供の活動の場づくりは急務だと考え、屋外で行う体験活動を中心に日帰りイベントを実施した。

ポイント：組数限定、家族で体験するイベント強化。

渡島教育局 「地域と学校の連携推進協議会」

事業所名：渡島教育局

事業名：地域と学校の連携推進協議会

概要：コミュニティ・スクールの充実や地域学校協働本部の有効性を学ぶ場の提供。コロナ禍における地域と学校の連携について学ぶ必要があり開催した。

ポイント：感染症対策として、例年行っていた参加者の協議ではなく、パネルディスカッション形式で学びを深める場とした。



函館市「亀リンピック チャレラン大会」

市 町 名：函館市

(主催：函館市亀田交流プラザ指定管理者)

事 業 名：亀リンピック チャレラン大会

概 要：幼児および小学生を対象とし、全12種類の遊びをとおして挑戦する気持ちや参加する喜びを育むイベント（チャレラン＝チャレンジランキング）。

ポイント：遊びの数だけコロナ対策に工夫が求められるが、基本対策の他、やくそくアーチを設置し、通過しないと会場入りできない導線工夫でコロナ対策を図った。



木古内町「リロナイふれあい学園」

市 町 名：木古内町

事 業 名：リロナイふれあい学園

概 要：60歳以上対象の高齢者教育。年間を通して運動や芸術文化活動など、様々な学習を行う。今年度は、講師を招き手芸に挑戦した。

ポイント：講師による机上での指導を避け、講師の手元をビデオカメラで撮影し、プロジェクターで映写する手法を用い、参加者や講師との密集を避ける工夫を図った。



松前町「姉妹都市児童交流事業」

市 町 名：松前町

事 業 名：姉妹都市児童交流事業

概 要：姉妹都市である愛媛県まさき町との児童交流事業。毎年、夏にはまさき町の児童10名を受入、冬には松前町の児童10名が訪問し、各町の自然や文化に触れ、様々な体験を行う。

ポイント：今年度は児童の往来をやめ、互いのまちの特産品交流に変更した。



渡島社会教育主事等研修会の研修内容とまとめ

団 体 名：渡島社会教育主事会

事 業 名：渡島社会教育主事等研修会

概 要：今年度は、コロナ禍における社会教育推進の取り組みと題し、ZOOMを活用した研修を行うとともに、コロナ禍における各市町の事業について検証した。

検証結果：創意工夫し事業を展開する必要性を知る。

(感想) 対面とオンライン双方の良さを感じる。

新たな社会教育の可能性を知る。

様々な事例の有効性を事業で活かしたい。

